

チーム名：uRL

エントリー番号：27-1

TASKeai

—気持ちを入れ替え、助け合えるスイッチ—

01

要旨

気持ちを入れ替えるスイッチ

これまでのスイッチは、操作すると照明がつくといった、ユーザーがモノを動かすための道具でした。しかし、私たちが提案する「TASKeai」は、使用するユーザー自身の心にも作用する、新しいタイプのスイッチです。照明用のスイッチであり、タスク管理ツールでもある「TASKeai」が、照明の ON-OFF だけでなく、ユーザーの気持ちを入れ替えるきっかけを与えるスイッチとなり、ユーザーのモチベーションを上げたり、家庭における家事分担に関する問題などの解決を目指します。

02

背景

やらなきゃいけない、でもつい・・・

「やらないといけないことはわかっているけど、行動に移せない…」という経験、誰しも一度はあると思います。

個人の範囲で例をあげてみると、宿題や自分でやると決めた課題をしないといけど、やる気が出なかったり、モチベーションが上がらなかつたりして、つい後回しに…。また、家庭にまで範囲を広げてみると、家事を分担した方がいいのはわかっているけど、ついお父さんやお母さんなど家族の誰か一人に頼ってしまい、負担が偏ってしまったり…。

このような「やらないといけないことはわかっているけど、行動に移せない…」時に、気持ちを入れ替えるスイッチになるようなものはないか、考えてみました。

03

目的

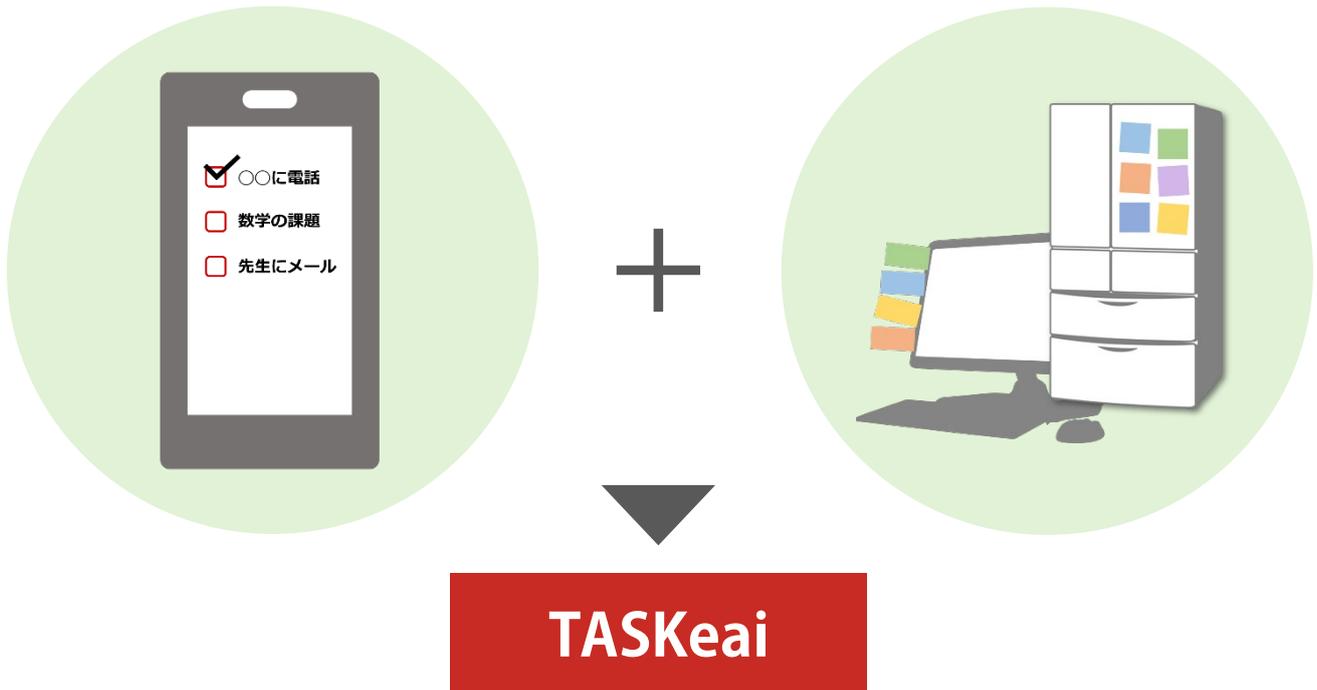
「TASKeai」は、目に付きやすいところに設置されていて、部屋に出入りする際に必ず触れる照明用スイッチに、タスク管理機能を付加することで、目標達成のための、気持ちの入れ替えにつなげることが目的です。

アナログとデジタル、それぞれの良さを融合させて、より便利にタスクを管理することが可能になります。

04

基本機能

タスク管理ツールへのタスクの登録や管理は、スマホの方が、いつでもどこでも操作できて便利。でも、タスクの一覧や達成度の確認は、目に付くところに貼った付箋の方がいい。この2つの要素を融合したのが「TASKeai」です。



用意するのは、スマホと「TASKeai」専用のディスプレイ搭載型の照明用スイッチ。
既設の照明用スイッチと置き換えて使用します。

Wi-Fi を通してインターネットに接続された
専用スイッチに、タスク管理ツールの内容
(タスク一覧や達成度) がすぐ反映。



家に設置した専用のスイッチ



外出先で発生したタスクを、
スマホで簡単に管理ツールに登録。

自分の部屋に設置して、個人で利用する

日常生活で一番触れるスイッチは、照明のスイッチです。多くの場合、この照明のスイッチは、ドアの近くの目に付きやすい位置に設置されています。この照明用スイッチを、「TASKeai」専用の照明用スイッチに置き換えて設置。そうすることで、部屋に出入りするたびに、タスクの一覧や達成度など、自分の現状が目に付き、気持ちを入れ替えるきっかけを作ります。

また、確認できるのは、自分の達成度だけではなく、あらかじめ登録しておいた同じシステムを利用する仲間・ライバルの達成度も表示できます。どこかの誰かではなく、同じ土俵に立ち、同じような目標を持った仲間やライバルと、タスクの達成度をシェアすることによって、部屋を出入りするたびに仲間・ライバルの達成度を確認でき、自分の気持ちも入れ替えられ、励みになります。

さらに、過去の自分のタスク消化・達成状況を記録し、その統計をもとに、警告通知を出します。例えば、締め切りまで1ヶ月ある課題レポートをタスクとして登録した際に、最初の1週間の進捗率が0%の場合、「あなたの過去の実績から、〇〇%の確率で、締め切りに間に合いません！」のような、具体的なデータとともに警告通知を出すことで、単に「締め切りまであと何日」と通知するよりも効果的に、気持ちを入れ替えるきっかけを作ります。

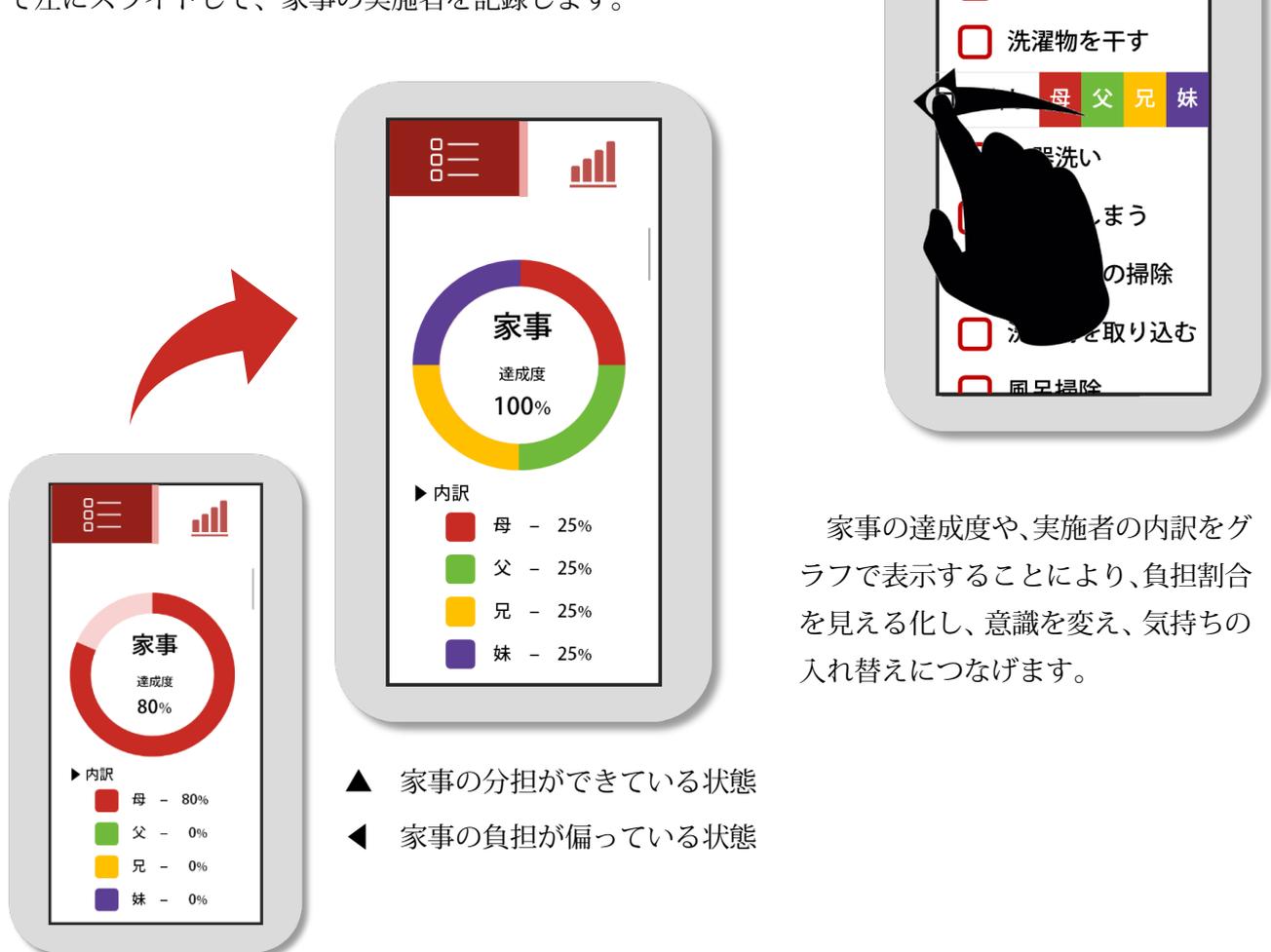


壁に設置された専用スイッチの画面

リビングに設置して、家族で利用する

時代の変化に伴い、共働き世帯も年々増加し、夫の家事時間も増えてきてはいます。しかし、子どもを持つ共働き世帯の妻が家事にあてる時間（育児を含む）は、1日当たり4時間54分に対して、夫が家事にあてる時間は46分であり、依然として約6.4倍もの差があります[1]。このような状況を「TASKeai」によって見える化するすることで、家事に対する気持ちや、家族内の役割も入れ替えるきっかけを作ります。

「TASKeai」専用のスイッチを家族みんなの目に付きやすいところに設置して、やらなければならない家事があとどれだけ残っているのかを一覧で表示します。また、家事を実施したら、その項目を指で左にスライドして、家事の実施者を記録します。



家事の達成度や、実施者の内訳をグラフで表示することにより、負担割合が見える化し、意識を変え、気持ちの入れ替えにつなげます。

[1] 「平成 28 年社会生活基本調査結果」（総務省統計局）

(<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/kekka.html>) (2018 年 8 月 16 日 参照)

コミュニティの形成

「TASKeai」向けのコミュニティツールを開発することで、全国と同じ土俵に立ち、同じような目標を持った仲間やライバルを探し、コミュニケーションを取ったり、その人の達成度を「TASKeai」に表示したりすることで、より効果的に気持ちを入れ替えられるようにします。

また、家事分担の成功例や効果的な「TASKeai」の使い方なども共有したり、同じ地域内の「TASKeai」を利用する家庭での家事分担状況なども匿名で表示できるようにし、自分の家庭の家事分担状況と比較できるようにすることによって、意識を変え、家族内の役割の入れ替えや家事の分担に貢献できることを目指します。

さらに、離れたところに暮らすおじいちゃん・おばあちゃんの家や、地域に住む高齢者の家に「TASKeai」を設置し、自分の家からタスクの状況を確認できるようにすることで、安否確認だけでなく、家事が溜まっていないかなども確認できるようにして、家事の一部を代わってあげるなど、助け合いを生むようなスイッチになることを目指していきます。

電気のスイッチを押すと照明がつくように、

「TASKeai」で、自分の気持ちが入れ替わる—

「TASKeai」は、ユーザーに働きかけて、気持ちを入れ替えるきっかけを与えてくれる、そんな新しいタイプのスイッチです。